編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-62	中学校	道徳科	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	**※教科書の記号・番号**	**※教科書名**		
38光村	道徳724	中学道徳1　きみが いちばん ひかるとき		

Ⅰ. 編修の基本方針

生徒一人一人が，自ら考え共に学び合うことによって，よりよく生きる力を育みたい

主体的・対話的で深い学びによって，生徒たちの豊かな道徳性が育まれることを切に願って，次の３つの基本方針を掲げて，編修しました。

1.

「考えたくなる！」

教材の中に引き込まれて思わず自分を重ねてしまう，考えずにはいられない教科書。

2.

「語り合いたくなる！」

道徳的な価値に気づき，自らの思いや考えを伝え，他者の考えも知りたくなる教科書。

3.

「動きだしたくなる！」

一人一人が成長し，自らの力を信じ，みんなと力を合わせて，動きだしたくなる教科書。

1.「考えたくなる！」教科書

■主体的に考えることのできる教材を選定しました。

・この教科書でしか出会えない作品，筆者が生徒の学びを考えながら書きおろした作品，美しい描きおろしの絵や，迫力のある写真で，生徒の感性に訴えます。

「10 魚の涙」
（P.60-63）

・生徒と同じ年頃の登場人物，伝記等で知られる先人，各界で活躍した人物が，悩んだり失敗や葛藤を乗り越えたりする姿など，生徒の心を捉える教材を選定しました。

「7 私の話を聞いてね」（P.42-45）

「27 栄光の架橋」
（P.162-166）

・絵本や漫画形式の教材，データや複数の資料から考える教材など，生徒が多面的・多角的に考えられるよう，多様な教材を取り上げました。

「29『養生訓』より」（P.174-178）

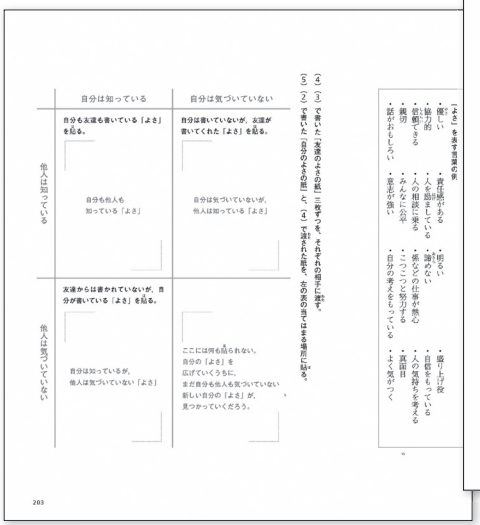
「19 私が働く理由」
（P.112-116）

2.「語り合いたくなる！」教科書

■無理なく自然に考えを表現し，対話ができるよう，教材を工夫しました。

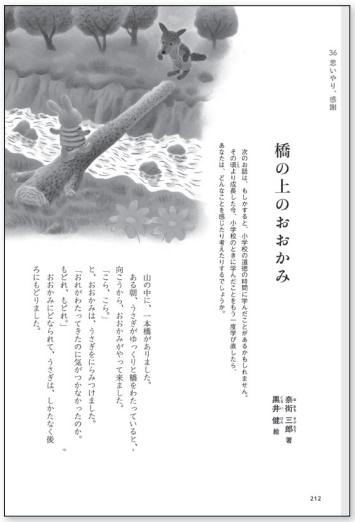
・自我関与によって自分の気持ちに気づいたり，道徳的な問題についての解決策を考えたりすることが，自分の考えを他者に伝えたい，他者の考えも知りたいという思いにつながります。こうした自己表現や他者との対話への意欲をかき立てる教材を，工夫しました。

・付録「学びの広場」には，小学校の道徳での定番教材を補充教材として収録しました。中学生に成長した今の考えを改めて語り合うことで，深い学びにつなげることができます。



「『確かめよう』」(P.202-204)

「34 カメは自分を知っていた」
(P.197-201)



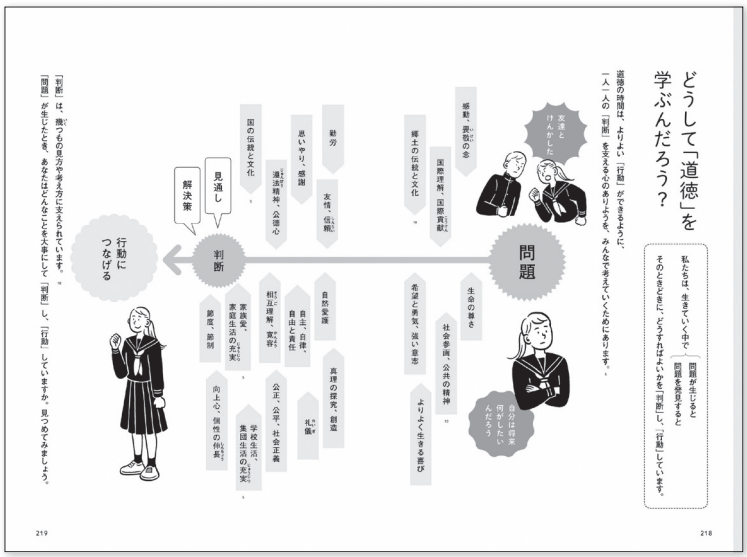
補充教材「36 橋の上のおおかみ」
(P.212-215)

3.「動きだしたくなる！」教科書

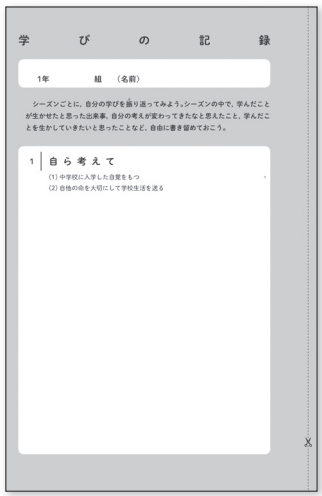
■自分に自信をもち，他者と力を合わせて行動したくなるようなしかけを盛り込みました。

・私たちは，生きていく中で問題を発見したとき，そのときどきに判断し，行動しています。このことを**「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」**でわかりやすく図示し，道徳を学ぶ意義を明確化しました。

・教材のてびきには，自分の気づきや心に残った他者の発言などを書き留めることができる**「私の気づき」**を，巻末の折込には，１年間を通じて自分の考えを書き留め振り返ることができる**「学びの記録」**を設けました。折込は切り離して使えるので，教師が生徒の学びを見取る際にも活用することができます。



「どうして『道徳』を学ぶんだろう？」
(P.218-219)



「学びの記録」
(P.225-228)

Ⅱ.「教育基本法」との対照表

図書の構成・内容				特に意を用いた点や特色		該当頁
「対話」で広がる，道徳の時間				他者と意見等を交流しながら考えを深めていくことや，自分自身と向き合って課題に取り組むことの大切さを意識づけるページ。	【第一号】	4-5
本書で学ぶ皆さんへ				それぞれの教材に示されたテーマについて主体的で対話的な学びを深めていけるよう，本書の基本的なてびきの構成を説明するページ。	【第一号】	6
シーズン1 自ら考えて	中学校に入学した自覚をもつ	1	自分で決めるって？	部活動や定期テスト，新たな人間関係など，入学時に直面する中学校生活特有の場面を想定し，自主，自律の意識をもつことの大切さについて考えることができる。	【第二号】	8-11
		2	自然教室での出来事	自然教室で消灯時間を過ぎても就寝せず，体調を崩した生徒の物語を通して，中学校生活の始まりに際し，規則正しい生活の重要性について考えることができる。	【第二号】	12-16
		3	さよならの学校	祖父の死に直面した少年を描いた今江祥智さんの物語を通して，家族へ敬愛の念をもつこと，また，自他の生命を慈しむことについて考えることができる。	【第三号】	17-21
	自他の命を大切にして学校生活を送る	4	ひまわり	東日本大震災，阪神・淡路大震災を巡る実話を通して，家族の大切さ，生命の尊さについて考えることができる。	【第四号】	22-26
		5	ヘレンと共に——アニー・サリバン	ヘレン・ケラーを支援したアニー・サリバンの物語を通して，困難に直面しても，信念をもって自らの仕事に取り組むことの大切さを考えることができる。	【第二号】	27-31
		6	いちばん高い値段の絵	画家のミレーとルソーとの関係を描いた物語から，互いに思いやりをもち，信頼し合う人間関係について考えることができる。	【第三号】	32-37
		コラム	人と人との関係づくり	体育祭のクラス練習に遅刻した友達に対応する場面を想定して，よりよい人間関係を築き，維持していくために必要なことや注意すべきことを考えることができる。	【第三号】	38-40
シーズン2 仲間とよりよい生活を送るために	新しい仲間を思いやり，よりよい学校をつくる	7	私の話を聞いてね	右手に障害がある女性がインターネット上に発信したメッセージを通して，自他の個性や立場を尊重し合って生きることの大切さを考えることができる。	【第二号】	42-45
		コラム	共生	ロナルド・メイスの「ユニバーサルデザインの7原則」を知り，皆が生きやすい社会について考えることができる。	【第三号】	46-47
		8	席を譲ったけれど	中学生が高齢者に電車で席を譲ったときに起こったトラブルを記した投稿と，その投稿に対する複数の立場からの反響を通して，他者への思いやりについて考えることができる。	【第三号】	48-53
		9	一粒の種	友達が所属する部活動の応援を始めた生徒の物語を通して，学校生活や集団をよりよくするために主体的に行動することの大切さについて考えることができる。	【第三号】	54-59
		10	魚の涙	魚類学者でタレントのさかなクンが著したいじめに対するメッセージを通して，社会や集団からいじめをなくしていくために行うべきことについて考えることができる。	【第三号】	60-63
		コラム	いじめについて考える	いじめる立場，いじめられる立場，傍観者の立場を想定し，いじめを防ぐためにどのようなことができるかについて考えることができる。	【第三号】	64-65
		11	捨てられた悲しみ	日本動物愛護協会のペット飼育に関するポスターや，犬猫の殺処分を行う施設の職員の仕事を追った文章と写真を通して，生命を尊ぶことについて考えることができる。	【第四号】	66-69
		12	六十二枚の天気図	レポート課題に取り組むことをきっかけに主体的に天気について調べ始めた生徒の物語を通して，知識や真理を追究していく姿勢を養うことができる。	【第一号】	70-74
シーズン3 広い視野で	他者の気持ちを考えて行動する	13	学習机	新入社員が起こした仕事上のトラブルとその解決までを描いた物語を通して，社会生活を送るうえでの責任感や礼儀の大切さについて考えることができる。	【第三号】	76-80
		14	言葉の向こうに	ＳＮＳでトラブルに巻き込まれた生徒の物語を通して，異なる立場の者どうしのコミュニケーションの取り方や寛容さについて考えることができる。	【第三号】	81-85
		コラム	情報モラル	中学校生活で起こる可能性のあるＳＮＳにおけるトラブルについて考え，情報モラルの在り方や具体的な解決策を知ることができる。	【第三号】	86-87
		15	父の言葉	黒柳徹子さんが福祉やユニセフに携わる出発点となった少女時代の出来事を描いた文章を通して，他者への思いやりについて考えることができる。	【第三号】	88-91
		16	エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	死を迎えようとする老人とそれを見守る家族を描いた大塚敦子さんによる文章と写真を通して，尊厳ある生と死の在り方について考えることができる。	【第四号】	92-98
	社会との関わりを考える	17	やっぱり樹里は	不公正な場面を見過ごさず自分の考えを述べることのできる生徒の物語を通して，公正，公平な社会を実現するために大切な行動について考えることができる。	【第三号】	99-103
		18	僕たちの未来	森をよみがえらせるボランティアに参加した生徒の物語を通して，主体的に社会参画する意欲や郷土愛を養うことができる。	【第三号】	104-109
		コラム	社会参画	ボランティアの理念や，中学生が取り組む実際のボランティアについて知り，ボランティア活動に対する心構えを養うことができる。	【第三号】	110-111
		19	私が働く理由	がん患者のための美容師や靴磨き職人など，さまざまな職業に就いている人々の仕事への思いや考え方などを知り，働くことの意義や喜びについて考えることができる。	【第二号】	112-116
		20	仏の銀蔵	近世を舞台にした高利貸しの男と金銭を借りている人々の物語を通して，法やきまりを守る心について考えることができる。	【第三号】	117-122
		21	なおしもん	重要無形文化財の輪島塗に関する文章を通して，郷土に根差した伝統と文化を継承していく心を養うことができる。	【第五号】	123-127
			なんだろう なんだろう	「正義」とは何かについてさまざまな角度から問うヨシタケシンスケさんの絵と文を通して，「正義」の意味を実生活に結び付けながら考えることができる。	【第三号】	128-129
	広い世界に目を向ける	22	鳥が見せてくれたもの	野鳥を保護する活動を行う生徒の物語を通して，自然環境を保全し，生き物を保護する心や態度を養うことができる。	【第四号】	130-135
		コラム	環境	「生物多様性」や，自然や生物と人間の生活との関わりについて知り，生物や自然環境への興味・関心を養うことができる。	【第四号】	136-137
		23	日本のお米	米や稲が日本の食文化や自然環境を支えてきたことを説明した富山和子さんの文章を通して，伝統的な農業や文化を引き継いでいくことの大切さについて考えることができる。	【第五号】	138-142
		24	異文化の人々と共に生きる	日本人と外国の人との間に生じたギャップを巡る事例を通して，異文化に属する人どうしが共生していくために大切なことについて考えることができる。	【第五号】	143-147
		コラム	国際理解	異文化に属する人々と共生していくなかで生じる問題について，具体的な解決方法や心構えを身につけることができる。	【第五号】	148-149
		25	命の木	屋久島の原生林の様子を描いた椋鳩十さんによる文章を通して，自然の雄大さや生命の尊さについて考えることができる。	【第四号】	150-155
	よりよい自分を探す	26	銀色のシャープペンシル	友達のシャープペンシルを拾って自分のものにしてしまったことを言い出せなかった生徒の物語を通して，自分の心の弱さを見つめ，改めることの大切さについて考えることができる。	【第二号】	156-161
		27	栄光の架橋	北川悠仁さん（ゆず）作詞の「栄光の架橋」と，アテネオリンピック・パラリンピックの選手の活躍を読み，目標に向かって生きることの価値について考えることができる。	【第二号】	162-166
シーズン4 共に学び合いながら	新しい年度に向かう準備をする	28	裏庭での出来事	学校の物置のガラスを割ってしまったことを正直に報告することができなかった生徒の物語を通して，自分の行動に責任をもつことについて考えることができる。	【第二号】	168-173
		29	「養生訓」より	「養生訓」を取り上げた漫画を通して，健やかな体を養うために節度・節制のある生活を送ることの大切さを考えることができる。	【第一号】	174-178
		30	撮れなかった一枚の写真	フォト・ジャーナリスト吉田ルイ子さんがベトナム戦争取材中に抱いた葛藤を記した文章を通して，ヒューマニズムや職業観について考えることができる。	【第二号】	179-182
	よりよい学校をつくる一員としての自覚をもつ	31	親友	異性の友達と友情を育んできた生徒の物語を通して，性別等にとらわれない友情関係や信頼関係について考えることができる。	【第三号】	183-187
		32	雨の日の昇降口	急な雨の際，他人の傘を無断で借用してよいかどうかで迷う生徒の物語を通して，きまりを守ることの大切さや公徳心について考えることができる。	【第三号】	188-191
		33	初めての伴奏	合唱コンクールの練習をする生徒たちの物語を通して，お互いの役割や能力を尊重し，協力し合うことの大切さについて考えることができる。	【第三号】	192-196
	希望をもって進級する	34	カメは自分を知っていた	百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して，自己を知り，向上心をもって物事に取り組む姿勢ついて考えることができる。	【第二号】	197-201
			「確かめよう」	友達と互いの「よさ」を見つけ合う活動を通して，自他を肯定的に見つめ，互いに個性を伸ばし合う意識を養うことができる。	【第二号】	202-204
学びの広場	35		旗	学校を休んでいる少女と少女を思いやるクラスメートの姿を描いた杉みき子さんの物語を通して，相手の状況や気持ちを考え，思いやりを行動に表すことの大切さを考えることができる。	【第三号】	206-211
	36		橋の上のおおかみ	いじわるな行いをしていたおおかみが自らの行動を改める物語を通して，思いやりについて考えることができる。小学校で既習の物語であり，自らの考え方の変化や成長を確かめることができる。	【第三号】	212-215
			その他	本編の内容に関連した資料，道徳を学習する意義や学習内容を振り返るページ，また，自己評価を書き込めるページを設け，主体的に道徳心を養っていくことができる。	【第一号】	216-228

Ⅲ. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①全ての生徒にとって使いやすく，わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において，色覚特性や特別支援教育の観点から，専門家による校閲を受け，全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

学習上の配慮

文字について

・文字の大きさは，発達段階，教材の内容によって，十分に配慮しました。

・文字の書体は，本文は原則として，書き文字への配慮を施した明朝体活字を用いました。

表記について

・読みの負担を軽減するため，常用漢字については，固有名詞等を除き，全てに振り仮名を付しました。

・読みやすさに考慮し，熟語の混ぜ書きを極力避けました。そのため，常用外漢字を用いる場合には，その熟語全体に，振り仮名を付しました。

仕様について

・中学生の教科書等の持ち物全体の重量に鑑み，持ち運びやすいＢ５判を採用しました。

・本文用紙は，堅牢ながら軽く，裏写りしにくい，環境に配慮した紙を採用しました。

・レイアウトについては，読みやすく美しい文字組，本文と挿絵とのめりはりある配置，教材間の区切り目をわかりやすくするなど，見やすい紙面構成にしました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって，教材や挿絵に登場する人物や執筆者について，性別による偏りがないようにしました。また，人種・身体的特徴などについても多様性に意を用いるとともに，人権に配慮した記述としました。

②今日的な課題について，考えを深めていけるように

「いじめ問題」について

全学年に，さまざまな内容項目から「いじめ問題」の解決に結び付く教材，また，コラムを用意しました。「いじめ」をしない，させない，見過ごさない姿勢が系統的に育成できるように工夫しました。１年のコラムには，悪ふざけの場面から考える**「いじめが生まれるとき」**（P.64-65）を掲載しました。

情報モラルについて

全学年に，情報モラルの内容を扱ったコラムを読みもの教材と組み合わせて提示し，道徳科の特質を踏まえたうえで，情報モラルについて深く考えることができるように工夫しました。１年のコラムでは，ネットの書き込みについて考える**「ネットの書き込み，大丈夫？」**（P.86-87）を掲載しました。

地域や伝統を大切に

日本の郷土や文化を慈しみ，地域の伝統文化を大切にする心を育むために，さまざまな地域の題材や伝統文化を取り扱った教材，および付録を全学年に掲載しました。自分とは関わりの少ない地域の事例の場合でも，自分の住む地域につなげられるよう，てびきも工夫しました。１年の付録では，**「日本の郷土玩具」**（P.216-217）を取り上げました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表，配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
29-62	中学校	道徳科	道徳	第１学年
※発行者の番号・略称	**※教科書の記号・番号**	**※教科書名**		
38光村	道徳724	中学道徳１　きみが いちばん ひかるとき		

Ⅰ. 編修上特に意を用いた点や特色

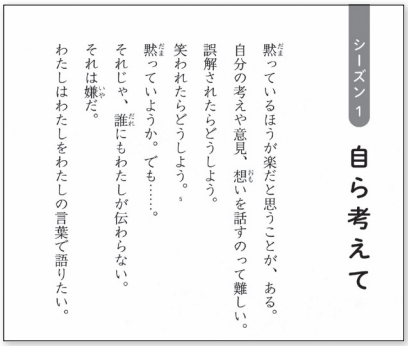
1 道徳の学びと出会う

● 生涯，大切にしたい教科書に

教科書を開くと，作家あさのあつこさんによる書きおろしの巻頭詩が，まず生徒に語りかけます。そこには，中学校に入学したての生徒と同じ，等身大の気持ちが描かれています。その主人公が，学び手である生徒と共に考え悩む一人として，各「シーズン」（詳細：本資料P. 2）のとびらページでも生徒たちに語りかけます。

巻頭詩（見返し-P.1）

また，教材のてびきなどに設けた書き込み欄（詳細：本資料P. 3）は，生徒自身の学びの記録であり，成長の証となります。巻頭詩から始まり，各とびらページの語りかけも含め，教科書全体が，１冊の物語のように，生徒と共に成長していく構成となっています。生徒にとってかけがえのない中学生時代をいっしょに過ごす教科書として，生涯大切な１冊となることを願って編修しました。



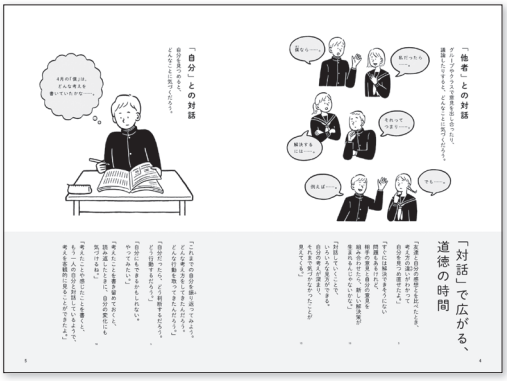
シーズン1
自ら考えて

黙っているほうが楽だと思うことが、ある。
自分の考えや意見、想いを話すのって難しい。
誤解されたらどうしよう。
笑われたらどうしよう。
黙っていようか。でも……。
それじゃ、誰にもわたしが伝わらない。
それは嫌だ。
わたしはわたしをわたしの言葉で語りたい。

とびらページの語りかけ（P.7 シーズン１）

● 道徳の授業開き

学年の冒頭には，生徒が「他者」と，そして「自己」と「対話」しながら，主体的に考えるのが道徳の授業であることを示す，**「『対話』で広がる，道徳の時間」**を設けました。対話することで考えが深まっていくという道徳の授業の本質を生徒がつかめるよう，紙面を工夫しました。



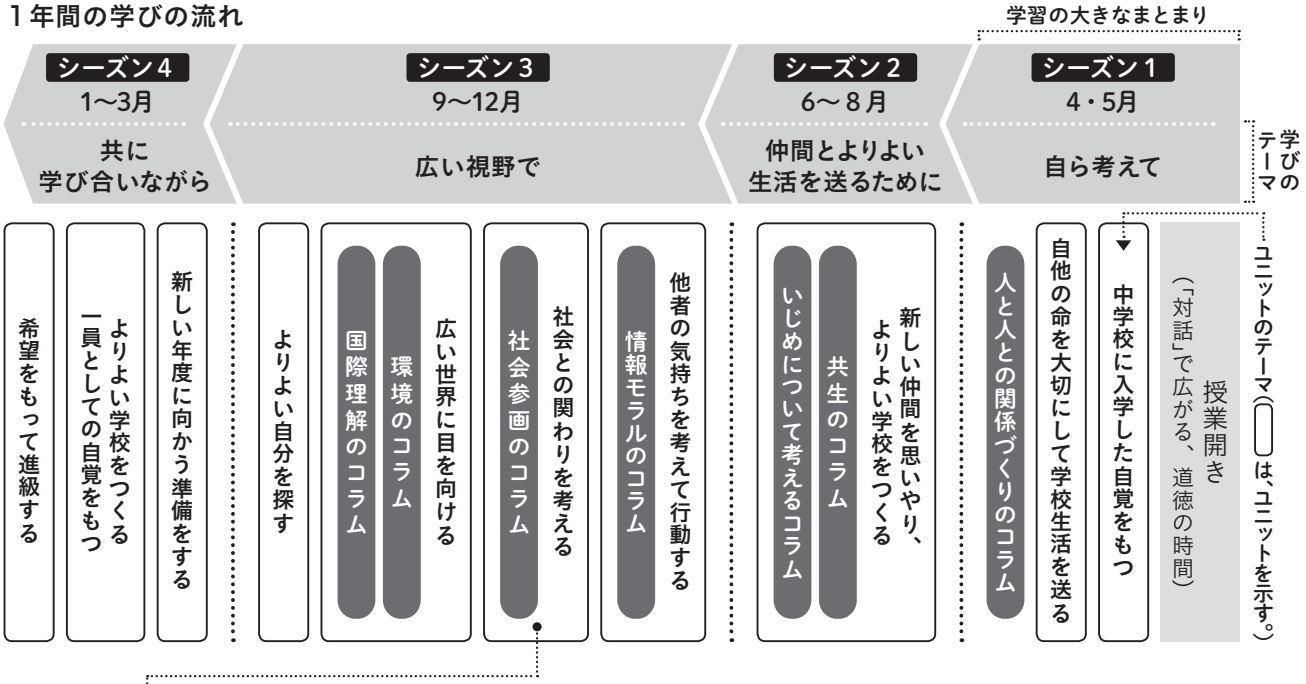
「『対話』で広がる，道徳の時間」（P.4-5）

2 １年間の道徳の学びの流れ

● ４つの「シーズン」── １年間を４つの「学習の大きなまとまり」に分けました

学校生活の実態と，それに伴う生徒の成長を考慮して，年間の学習を４つの「シーズン」（まとまり）に分けました。シーズンの始まりには，とびらページを設け，生徒が新たな気持ちで学習に入っていけるよう配慮しました。とびらページには，シーズンごとに「学びのテーマ」と，作家あさのあつこさんによる語りかけの言葉を掲げています。

１年間の学びの流れ



公正，公平，社会正義
▼
社会参画，公共の精神
▼
勤労
▼
遵法精神，公徳心
▼
郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度

シーズン３「社会との関わりを考える」での流れ

● 教材の「ユニット」化 ── 教材を内容項目に応じて関連づけました

シーズンの中には，学びのテーマに応じて「ユニット」を設けています。ユニットは，複数の教材で構成されており，「ユニットのテーマ」に沿って，内容項目間の関連を意識した配列にしました。１時間の学びが，単独ではなく，有機的に結び付くよう配慮していますので，ユニットを通して効果的に学ぶことが期待できます。例えば，シーズン３「広い視野で」の「社会との関わりを考える」というユニットでは，公正，公平な考え方について学んだうえで，社会を構成する一員として社会に参画し，勤労することの価値を理解し，その中で法やきまりを守る心，そして郷土を愛する心について考えを深めていくという，学びの流れになっています（左図）。さらに，これらのユニットは，P.224に示した「この教科書が目ざした１年生の姿」に向かう構成となるよう意識しています。

もちろん，これらの配列は絶対的なものではなく，各学校の教育目標に照らして，他の教材と差し替えることも並び替えることも可能です。

● 情報モラルと現代的な課題への対応

情報モラルと現代的な課題への対応として，「情報モラル」「いじめ問題」「共生」「社会参画」「環境」「国際理解」と，「人と人との関係づくり」のこつを示したコラムを設けました。直前に配されている教材と関連させて扱うことも，独立させて扱うことも可能です。各学校で計画的，発展的な扱いとして活用することができます。

3「考え，議論する」授業を構成するための要素

●教材ごとに「てびき」を用意 ── てびきは次の５つの要素で構成しました

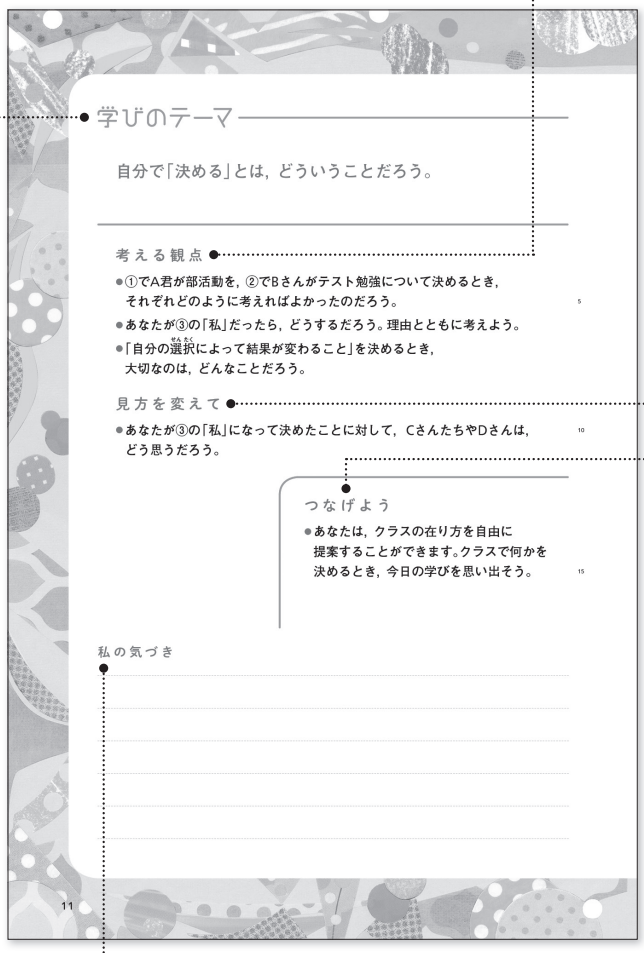
・学びのテーマ

生徒が，教材を通して何を学ぶのか**（めあて）**をはっきりと意識することができるよう示しました。

・考える観点

「学びのテーマ」に迫るため，主に次のような３つの発問を設定しました。

①道徳的な問題を明らかにする問い（課題の設定）
②道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い
③自分に引きつける問い・テーマ的な問い
（価値の一般化を意識した問い）



・見方を変えて

生徒が，**多面的・多角的**な見方や考え方ができるよう，「考える観点」とは視点を変えた問いを設定しました。

・つなげよう

該当の内容項目での学びをさらに深める観点，他教科や学校生活との関連，同じ内容項目の他教材との関連，異なる内容項目との関連，関連する図書の紹介等を，教材の特質に合わせて示しています。道徳の学びが１時間の授業で終わってしまうのではなく，そこからさらに深く考えたり，行動につなげたりできるよう工夫しました。

・私の気づき

１時間１時間，授業で学んだことから，感じたことや考えたことを書き留められるコーナーを設けました。生徒が，学んだことを振り返り，**自身の変容を実感**することができます。

巻末に「学びの記録」を用意しました。教材ごとに書き留めてきた「私の気づき」を見返しながら，シーズンごとに，そこまでの自分の学びの変化や成長について振り返り，記録できるページです。生徒の**自己評価**を通して，教師が**長期的に生徒の成長を見取ったり，また評価の材料として活用したりする**ことができます。

4 教材化の配慮と工夫

● 発達段階に即した指導内容の重点化

全学年を通して，特に「生命を大切にする心」の育成に重点を置き，「生命の尊さ」に関する教材をどの学年にも３つずつ掲載しました。発達段階に即して，誕生の喜びや臓器移植や尊厳死など，さまざまな観点から「命」について，学びを深めることができます。

また，学習指導要領に示されている指導内容の重点化に留意し，「自主，自律，自由と責任」「節度，節制」「向上心，個性の伸長」「希望と勇気，克己と強い意志」「よりよく生きる喜び」「遵法精神，公徳心」に関する教材は学年２つずつとし，「郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度」「我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度」「国際理解，国際貢献」に関する話題についても随所に取り上げ，教材化するよう配慮しました。

● 生徒の興味を引き出す工夫

▶「なんだろう　なんだろう」

１年には**『『正義』って，なんだろう。』**，２年は「『ゆるす』って，なんだろう。」，３年では「『自立』って，なんだろう。」というテーマを設け，作者（ヨシタケシンスケさん）と問答ができるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として，「考えること」を難しく捉えず，楽しむことができるよう工夫しました。

P.128-129

▶「人と人との関係づくり」（コラム）

全学年のシーズン１の終わりに，**道徳的行為に関する体験的な学習**として，人とよりよい関係を築くための「こつ」を身につける取り組みを提示しました。１年では，友達と関係を築くための対応のしかたを内省しながら，自分の言動をチェックできる**「友達とよい関係を築くには」**を掲載しました。学年の早い時期に設定することで，その後の生活でのヒントになるよう配慮しました。また，年間を通して，随時学級活動の時間に取り組むことも可能です。

P.38-40

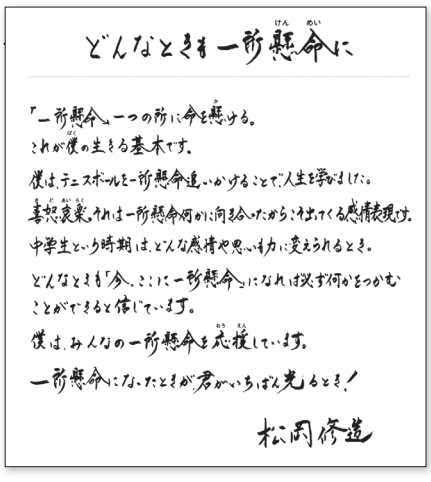
▶「あなたへのメッセージ」（巻末付録）

全学年の付録に，現在，各分野で活躍している人物からの，生徒に向けたメッセージを掲載しました。

1年 ヤマザキマリ（漫画家）
松岡修造（プロテニスプレーヤー）

2年 サンドウィッチマン（お笑い芸人）
南谷真鈴（冒険家）

3年 西 加奈子（小説家）
山極寿一（人類学，霊長類学者）


どんなときも一所懸命に

「一所懸命」一つの所に命を懸ける。
これが僕の生きる基本です。
僕はテニスボールと一所懸命追いかけることで人生を学びました。
喜怒哀楽、それは一所懸命何かに向き合ったからこそ出てくる感情表現です。
中学生という時期は、どんな感情や思いも力に変えられるとき。
どんなときも「今、ここに一所懸命」になれば必ず何かをつかむことができると信じています。
僕は、みんなの一所懸命を応援しています。
一所懸命になったときが君がいちばん光るとき！

松岡修造

P.222-223

Ⅱ.「学習指導要領」との対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容					該当頁	配当時数
			視点				内容項目		
			A 主として自分自身に関すること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること			
巻頭詩								見返し-1	
「対話」で広がる，道徳の時間								4-5	
本書で学ぶ皆さんへ								6	
シーズン1（四月から五月）	1	自分で決めるって？	○				（1）自主，自律，自由と責任	8-11	1
	2	自然教室での出来事	○				（2）節度，節制	12-16	1
	3	さよならの学校			○		（14）家族愛，家庭生活の充実	17-21	1
	4	ひまわり				○	（19）生命の尊さ	22-26	1
	5	ヘレンと共に ── アニー・サリバン	○				（4）希望と勇気，克己と強い意志	27-31	1
	6	いちばん高い値段の絵		○			（8）友情，信頼	32-37	1
シーズン2（六月から八月）	7	私の話を聞いてね		○			（9）相互理解，寛容	42-45	1
	8	席を譲ったけれど		○			（6）思いやり，感謝	48-53	1
	9	一粒の種			○		（15）よりよい学校生活，集団生活の充実	54-59	1
	10	魚の涙			○		（11）公正，公平，社会正義	60-63	1
	11	捨てられた悲しみ				○	（19）生命の尊さ	66-69	1
	12	六十二枚の天気図	○				（5）真理の探究，創造	70-74	1
シーズン3（九月から十二月）	13	学習机		○			（7）礼儀	76-80	1
	14	言葉の向こうに		○			（9）相互理解，寛容	81-85	1
	15	父の言葉		○			（6）思いやり，感謝	88-91	1
	16	エルマおばあさんからの 「最後の贈りもの」				○	（19）生命の尊さ	92-98	1
	17	やっぱり樹里は			○		（11）公正，公平，社会正義	99-103	1
	18	僕たちの未来			○		（12）社会参画，公共の精神	104-109	1
	19	私が働く理由			○		（13）勤労	112-116	1
	20	仏の銀蔵			○		（10）遵法精神，公徳心	117-122	1
	21	なおしもん			○		（16）郷土の伝統と文化の尊重，郷土を愛する態度	123-127	1
		なんだろう なんだろう			○		（11）公正，公平，社会正義 （18）国際理解，国際貢献	128-129	
	22	鳥が見せてくれたもの				○	（20）自然愛護	130-135	1
	23	日本のお米			○		（17）我が国の伝統と文化の尊重，国を愛する態度	138-142	1
	24	異文化の人々と共に生きる			○		（18）国際理解，国際貢献	143-147	1
	25	命の木				○	（21）感動，畏敬の念	150-155	1
	26	銀色のシャープペンシル				○	（22）よりよく生きる喜び	156-161	1
	27	栄光の架橋	○				（4）希望と勇気，克己と強い意志	162-166	1
シーズン4（一月から三月）	28	裏庭での出来事	○				（1）自主，自律，自由と責任	168-173	1
	29	「養生訓」より	○				（2）節度，節制	174-178	1
	30	撮れなかった一枚の写真				○	（22）よりよく生きる喜び	179-182	1
	31	親友		○			（8）友情，信頼	183-187	1
	32	雨の日の昇降口			○		（10）遵法精神，公徳心	188-191	1
	33	初めての伴奏			○		（15）よりよい学校生活，集団生活の充実	192-196	1
	34	カメは自分を知っていた 「確かめよう」	○				（3）向上心，個性の伸長	197-201 202-204	2
学びの広場	35	旗		○			（6）思いやり，感謝	206-211	
	36	橋の上のおおかみ		○			（6）思いやり，感謝	212-215	
	その他		○	○	○	○		216-228	
								合計時数	35